

科目名	沖縄方言 II			英文表記	Okinawan Dialect II		H22 年 6 月 24 日
教員名：	又吉元亮						修正
技術支援：							
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
	2	選	履修	I 単位	講義実習	前学期	
目 標	① 縄方言指導者②琉歌鑑賞③芝居の台詞理解④沖縄民謡理解⑤方言で自己の意見発表						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称		
		◎			JABEE プログラム教育目標		
授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意	①授業概要 イ・方言単語を豊富にする。ロ・方言で話す時の雰囲気を得る。ハ・方言を聞く能力を養う。ニ・大勢の前で話す方言。ホ・禁句の数々。 ②方針 沖縄方言は地域差が大きいので標準的に首里方言に拠る。③方言の背景を学ぶ 期末テスト（50%）の他に講義中に発せられる小質問（50%）による評価。						
評 価 方 法							
教科書・教材	毎回 2 ページ～4 ページのプリントの講師自作テキストを作成して配布する。						
参 考 図 書	（他にも参考図書を探す場合のキーワード：国立国語研究所編 沖縄語辞典）						
授 業 計 画							
授 業 項 目	時 間	授 業 内 容					
1. 方言の形容詞の特徴（1）	2	標準語の形容詞の「しい」という語尾と方言の形容詞の					
2. 方言の形容詞の特徴（2）	2	「さん」という語尾など方言の形が著しく異なる。					
3. 方言の形容詞の語尾変化（1）	2	語尾が変化する段階で便宜的に「さん」の変化と「しい」					
4. 方言の形容詞の語尾変化（2）	2	の変化を混同する例を説明する。					
5. 一人称、二人称、三人称代名詞と助詞	2	主格を表す助詞が必要な場合と無用な場合。					
6. 話し言葉文（対話）を作成（1）	2	簡単な会話を試み、それを反復可能にする文を作る。					
7. 話し言葉文（側聞）を作成（2）	2	うわさ話をする会話を試み反復可能な文にする。					
8. 話し言葉文（演説）を作成（1）	2	聴衆に向かって話をする場合を想定して原稿を作る。					
9. 挨拶文（対面）を作成（1）	2	日常の挨拶を文にして反復可能にする。					
10. 挨拶文（衆人向け）を作成（2）	2	会合などでの挨拶はどうすべきか原稿を作り反復。					
11. 敬語の使い方（1）	2	対話の時の敬語はどうすべきか。					
12. 敬語の使い方（2）	2	大勢に話しかけるときの敬語はどうすべきか。					
13. 琉歌の読み方	2	「琉歌大成」所載の歌の中から読んで読み方を学ぶ。					
14. 琉歌の解釈と鑑賞	2	同上に続いて意味と鑑賞の方法を探る。					
15 琉歌女流歌人恩納ナビとユシヤチル	2	恩納ナビとユシヤチルーについて学ぶ。					
前期末試験	1						
学習時間合計	30	実時間					25
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）
 通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。